

日にち	曜日	校時	登校	行事
1	木	5	○	各種委員会
2	金	6	○	特別委員会
3	土			
4	日		○	
5	月	6		放課後学び舎
6	火	5	1,2,3 3x	進路面談(3年)
7	水	5	1,2,3 3x	
8	木	6	1,2,3 3x	
9	金	5	1,2,3 3x	
10	土			
11	日			
12	月	6	1,2,3 3x	
13	火	6	○	学校保健委員会
14	水	5	○	生徒朝会 代議員会
15	木	4	△	三者面談(1・2年)
16	金	4	△	
17	土			総下校12:15
18	日			
19	月	4	△	総下校13:00
20	火	4	△	
21	水	4	△	
22	木	5	○	学習相談 総下校14:20
23	金	4	×	終業式 再登校14:30 総下校12:10
24	土			冬季休業
25	日			
26	月			
27	火			
28	水			
29	木			
30	金			
31	土			

〈1月の主な予定〉

- 1月10日 始業式
- 1月11日～ 校内書初め展
- 1月26日～ キャリア学習(1年)

スクールカウンセラー(杉沢 実佳先生)による相談
12月は、6日、13日、20日、の予定です。
相談や面接の予約等は、本校職員または
相談室直通電話(472-5438)まで。

菅田中ブロックは併設型小中一貫校

菅田中学校ブロックでは、併設型小中学校の利点を生かし、中学校英語科の鹿内教諭が週に2回、羽沢小・菅田の丘小6年で外国語の乗り入れ授業を行っています。この取組は、今年度で5年目となります。

(小学校6年生の声)

- ・授業が分かりやすく楽しい。英語に興味があった。
- ・中学校で学習する発展的なことや、中学校の授業の様子を教えてもらえてうれしい。
- ・来年、知っている先生が中学校にいますので、不安が減ると思う。

(昨年度乗り入れ授業を経験した中学校1年生の声)

- ・質問した時に分かりやすく答えてくれてよかった。
- ・中学校について先に知れたことや、入学したときに知っている先生がいたことが安心感につながった。
- ・単語の書き方などを先に知ることができたので、それが役に立った。

(鹿内教諭より)

- ・Song&Chantsやスモールトークなどにくり返し取り組むことで、自信をもって発表できる子が増えたと思います。
- ・「これを伝えたい!」と思ったことを英語で言えるように、気軽に質問しやすい雰囲気づくりを心がけています。
- ・中学校入学を楽しみに思えるよう、英語以外にも中学校についての情報を色々伝えていきます。

今後も、ブロックの児童・生徒のよりよい成長や安心・安全のために、3校で協力し合い、教育活動を進めていきます。



菅田中学校だより

12月号

創造の意気ここにあり

令和4年11月29日
学校長 遠藤まり

学校ホームページ
<https://www.educity.yokohama.lg.jp/school/jhs/sugeta/>



メタ認知を働かせ

学校長 遠藤 まり



師走を迎え、日没も早くなりました。暗くなる時間に合わせ、完全下校時刻を11月と1月は17:00、12月は16:45としています。学校でも下校時刻には遅くならず帰るように声をかけて送り出しますので、保護者・地域のみなさまも、生徒が安全に下校できるようどうぞ見守り、お声がけをよろしくお願いいたします。

さて、3年生が4月に実施した全国学習状況調査の結果について、個人票を9月に配布していますが、今号では本校の概要をまとめています。また、全校生徒が4月に実施した「横浜市学習状況調査」の結果については、個人票を7月に配布しています。この「横浜市学力・学習状況調査」は、昨年度より全面改訂され、「どれだけ理解しているか」を問う調査から「理解していることをどのように活用できるか」を問う調査になり、小中9年間を通して、一人ひとりの学力がどのくらい伸びたのか、データの形で毎年分かるように、学びのあしあとを継続的に見られるようになっていきます。なお、菅田中では11月4日に各自の学習状況を図る「学習診断」テストを全校生徒が受験していますので、12月の面談ではその結果もお返しします。(3年生は早めに返却します。)

本校の中期学校経営方針の中期取組目標の一つに「客観的データを活用し、生徒一人ひとりが自分の力をメタ認知し、主体的に学ぼうとする姿を目指して取り組みます。」を掲げています。認知とは「ある事柄をはっきりと認めること」ですが、メタ認知は「認知をもう一段上から捉えること」で、自分の頭の中において、冷静に客観的判断をしてくれるもう一人の自分というイメージです。メタ認知は、知的能力以上に学習結果を高める効果があるという研究結果もあるそうです。主体的に学ぶためには、先生から言われたことを言われたとおりにするだけでは不十分で、生徒自身がメタ認知を働かせて、自分の学び方を問い直し、よりよいものにしていくことが必要です。調査により測定できるのは学力の一部ではありますが、点数だけを見るのではなく、ご家庭ではこれらの結果をお子様と一緒に確認していただき、これからの学習に役立てていただきたいと思います。

11月の期末試験の前の「テスト前質問」では遅くまで担当の先生に質問をする生徒の姿がありました。また、月曜日には「放課後学び舎」を実施していますが、22名の生徒が登録し、ボランティアの大学生や地域の方に学習を支援していただいています。家庭では端末(chromebook)を持ち帰り、デジタルドリル「モノグサ」を利用して学習している生徒も多いと思います。学校でも様々な形で学習に向かう機会をつくり支援をしています。

寒くなってきて、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの流行が心配されていますが、11月中旬に「横浜国立大学における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」が改訂されましたので、一部をお知らせします。ご家庭にはマチコミメールでもお知らせをします。ご理解とご協力をお願いします。

★毎朝 Google フォームを使って健康観察の報告をお願いしていましたが、家庭での健康観察は続けていただいたうえで、**学校への報告は11月末日をもって不要とします。**12月より欠席や遅刻の連絡のみ、引き続き Google フォームをご利用ください。

★マスクの着脱については、学校教育活動の態様や生徒の様子などを踏まえ臨機応変に対応します。○屋外では、原則マスク着用は不要です。※人との距離(めやす2m)が保てず、会話をする場合はマスク着用をお願いします。○屋内で、人との距離(めやす2m)が確保でき、会話をほとんど行わない場合には、マスクを着用する必要はありません。○登下校の際には、マスクの着用は必要ありません。その際、人との距離を十分に保つよう注意すること、なるべく会話をしないこと等に気を付けます。

進路指導主任 松浦 和輝

古代ギリシアの哲学者、アリストテレス (B.C. 384~322) の残した言葉です。” 幸せかどうかは、自分次第である。” 2000 年以上前の方が残した言葉ですが、中学生の皆さんにとっても当てはまる言葉なのではないでしょうか。

先日、進路のことで知りたいことありますか? と3年生に聞くと、ある生徒が「高校って、楽しい?」と言いました。中学校卒業後に過ごす場所を、皆さんはどんな視点で選びますか。なんとなく行けば、楽しませてくれる。入学者の試験の点数平均が高いところへ行けば、なんとなく大学に入れそう。そのような考えで選んだ学校では、恐らく楽しい3年間は過ごせないでしょう。正に、楽しいかどうかは、**自分の行動次第**です。自分のやりたいことができ、自分の良いところが存分に発揮できる、そのような進路先を選べるよう、私たちは進路決定にかかる相談を行っています。まずは自分のことを知り、そして、いろいろな学校について調べて、よりよい進路決定を行ってほしいと思います。

進路決定に向けて

さて、あっという間に11月が終わり、3年生は進路決定の時期に差し掛かってきました。12月6日(火)からは、進路面談が始まります。第三回進路希望調査では、公立学校のみを希望する生徒が16名、公立学校を第一希望とし、私立学校の併願を希望する生徒が100名、私立学校のみを希望する生徒が27名、未定の生徒が9名でした。この調査をもとに、10月27日~11月1日に進路予備面談を行いました。11月28日(月)には、第四回進路希望調査を提出してもらいました。公立学校と私立学校の併願を希望していた生徒の中には、私立学校のみを受験する方向に変更した生徒もいて、方向性が定まっています。右の表は、第三回進路希望調査において、各公立高校を希望者の多い順から並べたものです。(希望者が5名以上の学校のみ抜粋)

第三回進路希望調査 (10月)	
新羽高校	13
港北高校	12
城郷高校	11
白山高校	11
岸根高校	10
神奈川工業高校	7
横浜平沼高校	6
霧が丘高校	5

進路面談では私立学校を受験校決定を行います。12月までには、推薦・専願・併願に関わらず、どの私立学校の、どのコースを受験するのか、決定しなければなりません。神奈川県内や東京都内の多くの私立高校では、入試の点数だけで合否を判断するのではなく、中学校の成績(いわゆる“内申点”)を基準とした選抜システムをとっています。私立高校を受験するには、まず各私立高校が示している成績の基準に達していなければなりません。基準に達していれば、その学校を受験することが可能になります。その確認を行う場が、【進路相談】です。進路相談では、中学校と私立高校で、生徒が受験することができるか、相談を行います。高校から、受験の準備を進めるよう返答があれば、生徒にその旨を伝え、受験することができるようになります。各私立高校の示す成績の基準は、10月以降の学校説明会へ行くと、詳細を知ることができます。加えて、学校説明会では、その学校の特色の説明があったり、実際に施設を見ることができたりと進路先決定に向けての重要な情報がたくさん得られます。

公立高校にも様々な種類がありますが、多くの生徒が【共通選抜】という選抜方式で受検します。本年度は2月15日~18日に行われます。共通選抜では、調査書の評定を用いる【第1次選考】で定員の90%を選考します。加えて、その合格者を除いた者を対象に、調査書の評定を用いない【第2次選考】を行い、募集定員の残りを選考します。

・調査書の評定 (A)	135 (2年生の評定45点満点+3年生の評定45点満点×2)	→ (a)
・学力検査の得点 (B)	500(各教科100点満点の試験×5教科)	→ (b)
・面接の結果 (C)	100	→ (c)
それぞれの点数 (A)・(B)・(C) を100点満点に換算し、(a)・(b)・(c) それに各学校の定めた数値 f・g・h をかけて1000点満点にします。		
公立高校の多くは、 $(a) \times 4 + (b) \times 4 + (c) \times 2$ の比率を採用しています。		

希望の進路に進むことができるよう、目標に向かって日々努力を続けましょう。

1月の1・2学年の活動

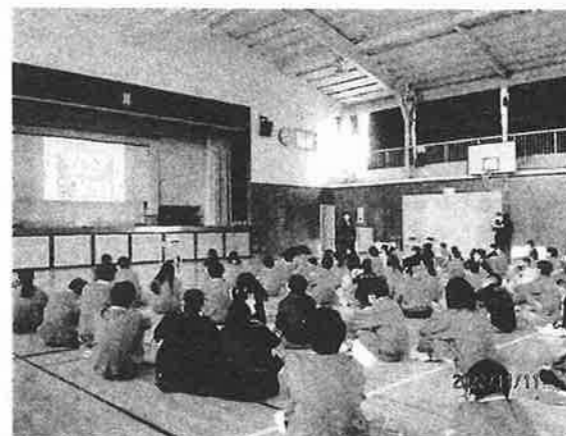
2学年 薬物乱用防止教室

11月24日(木)の6時間目に体育館で2学年生徒全員が集まり、薬物乱用防止教室が行われました。神奈川県警察署の生活安全防犯少年係の方にお越しいただき、未成年の飲酒、喫煙の危険性や、薬物依存症について実際の写真などを見ながらお話をいただきました。お話のなかで、「他人に迷惑をかけていないから大丈夫なのか」「友達や仲間から誘われても断る勇気を持てるか」という問いかけがあり、生徒一人ひとりが考える良い機会となり、未来の自分自身に生かすことができればと思います。



1学年 交通安全教室

11月11日(金)の6時間目に体育館1学年生徒全員が集まり、交通安全教室が行われました。横浜市交通安全協会の方々にお越しいただき、自転車の通行場所、通行方法などについて、クイズを交えながらお話していただきました。自転車は左側通行、歩道の通行が認められているのは13歳未満であること、傘さし運転、音楽聞きながらの運転の危険性について映像を見ながら学習しました。また、14歳以上で危険行為を繰り返すと自転車運転者講習を受講しなければいけないことを知り、驚いている様子が見られました。身近な乗り物である自転車の交通ルールについて、改めて学習し、今後の乗り方について考える良い機会になりました。

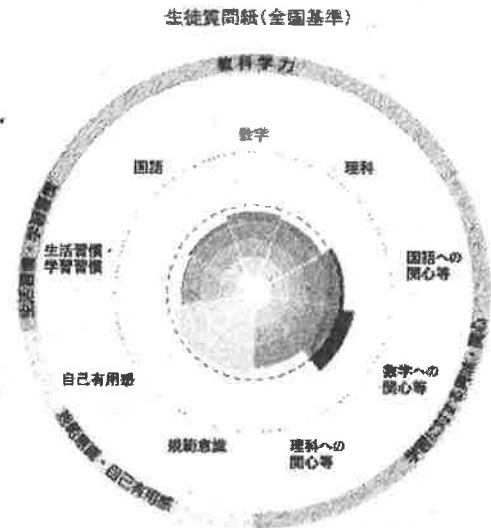
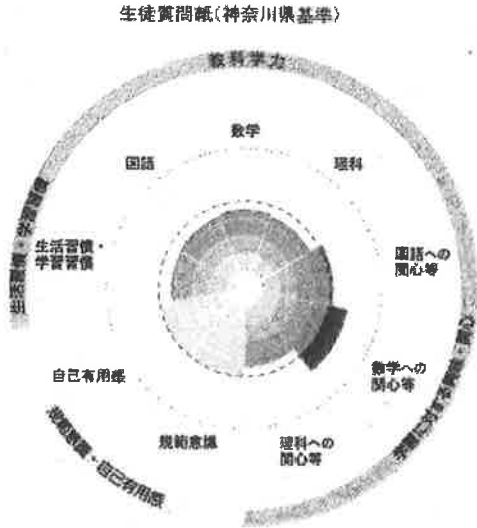


令和4年度 全国学習状況調査結果についての報告

4月19日に3年生を対象として実施された「令和4年度全国学力・学習状況調査」の結果について、本校の概要をまとめました。調査結果から見えてきた課題について検討し、今後の指導に活かします。

【県平均との比較】 内側の円（点線）：神奈川県平均

【全国平均との比較】 内側の円（点線）：全国平均



*外に出ている部分が平均以上となります

【生活意識調査の分析】		【学力・学習意識踏査の分析】			
<p>全国・県平均から見た生活課題としては、「朝食を全く食べずに登校している」「1日のSNSや動画視聴時間、ゲーム時間が4時間以上」「自宅学習を全くしていない」生徒が全国平均のおよそ倍の人数であることが挙げられる。また就寝する時間が不規則であることも数字として表れているので、このことはすべて繋がっていると思われる。例えば就寝時間を削りゲーム、SNSや動画視聴をして、起きる時間が遅くなり朝食を抜き登校する。朝食を抜いているので学習などに集中ができなくなるという1日のサイクルが続いているのだと考える。自分の生活を振り返り、より良い生活習慣の確立が必要である。他方で「平日にPC・タブレットなどを使って学習をしている」という数字が、全国・県平均の倍の数字が出ているので、ICT機器を活用して学習に取り組む習慣が身についていることもわかった。</p>		学習状況調査の結果（数字は％）	菅田中平均	県平均	全国平均
		国語 正答率	64.0	69.0	69.0
		【国語に関する意識と授業の改善点】			
		回答の分析では「書くこと」の力が全国や市より上回っている。引き続き授業で、意見文や鑑賞文の課題に取り組んでいきたい。思考力・判断力の中では「読むこと」の力をさらに伸ばせるように要旨の捉え方などに着目して理解する力を伸ばしていきたい。			
		学習状況調査の結果（数字は％）	菅田中平均	県平均	全国平均
		数学 正答率	47.0	53.0	51.4
		【数学に関する意識と授業の改善点】			
		生徒は授業に意欲的に取り組み、発言や教え合いの姿も多く見られる。ただ、知識の定着や思考の部分では十分ではないところもあるので、基礎や考えながら解くことを大切にしていきたい。			
		学習状況調査の結果（数字は％）	菅田中平均	県平均	全国平均
		理科 正答率	46.0	50.0	49.3
		【理科に関する意識と授業の改善点】			
		回答の傾向を分析すると、基本的な知識の定着については全国平均と大きな差はない。しかし、観察・実験の結果が、身につけている知識と異なる場合や、実験方法の改善等を思考する能力が身につけていない生徒が多いことがわかった。加えて、記述式の設問に対する無回答率が多い。単純な知識を身につけさせるだけでなく、それらを活用する主体的対話的で深い学びの実現を目指して、授業改善を行っていきたい。			
質問項目 ※抜粋	回答（％）				
普段（月～金）一日当たりどれくらいの時間、ゲームをしますか	（4時間以上） 29.9	（全くしない） 6.7			
普段（月～金）一日当たりどれくらいの時間SNSや動画視聴などをしますか	（4時間以上） 32.1	（全くしない） 0.7			
学校の授業以外に普段（月～金）一日当たりどれくらいの時間読書をしますか	（2時間以上） 3.7	（全くしない） 55.2			
学校で授業中に自分で調べる場面で、ICT機器をどの程度使っていますか。	（ほぼ毎日） 24.6	（月1回未満） 0.7			